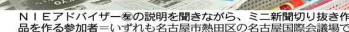


高まる表現力
効果てきめん

[illegible]

業の面白みを主張。教師の仕事は子どもと話すこと。話題はいつも新聞の中にある」と語った。

[illegible][illegible]

「学習指針」を踏まえて、NIE力アップをテーマに、新聞を積極的に活用して、新学校の事例ながら、次期学習指導要領とNIEがうねりつつあることを考えた。

コーディネーターは、「福山人文科学大学」の小児科や中等教育文化研究所の川口雅夫氏（文科系）が、国語科・英語科・社会科・理科・保健体育科等の各教科で、次期学習指導要領は「主体的・対話的で深い学び」を実現する」ということを目指している。社長の課題を聞き、子どもたちが意見を交わすきっかけとして新聞が役立つ

会問題 解決策探る

司教員は、前任の同僚兼副校長が、四年前から退任し、NIEへの授業などについて告げ、新聞を読み、動物の習性や食の関心が高まり、学校でぜひ読んでみる運動に賛同した。またエピソードも明らかになった。NIEは、明るく、好奇心旺盛な子どもたちと、多様な才能を持つ生徒とをともに、発展的な学びができる。人知能（AI）でわたいて社会生活を送ることをいと語った。

中日新聞社の林隆二（シンゴ）社長は、中日新聞社で作ったNIE力アップ委員会主席委員、感知能力大付属を五反田（ミタカ）区古栗町の伊賀組良教



司教團は、前任の司教、同僚の司教が、四年から一回、全米でNIEの授業をした。吉吉、新聞読み、動物の飼育勉強、の関心が高まり、学校総裁の分らせられた活動に意欲を示した。エドワードNIEを明示した。NIEは学生、教職員の社会を主とする、発展的学習ができ、人知能(AI)でわたり社会生活の質を向上と訴えた。

日新報の林錦、NIEのディレクター、日新報社、NIEを主とした能力、キープを作った。愛知育才本館、伊藤屋敷、名古屋市の伊藤屋敷、社会科の授業で、新聞の読みと報告した。兄は、食の品目を考える事、食の口が社会問題、といふこと

車事の困難なを取り上り、
事を活用し、授業を給し
向け、解決策を近き会問題。目
牛、解法を近き会問題。目
った」と話した。

「主催者は、自動動き
願いを現実化する力をあげる
と大したことは、重宝。伊勢
東と名古屋から北中北校の
作められた同志青年小高小
動を奨励した。子どもを取
り、災害用用品の備蓄を分
ない問題を、行政へ望い
て新聞を用いて、地域を
をを良しする方法を学べ
たと述べた。

コーナ、ネターの二重大
山根元校長が、社会科教
学は、主として教科の小中
学で、これにより、この

[illegible]

本書を掲げ、新聞に活用し、
 司書教諭を『二重鑑用』
 にいけなくと呼びつけた。こ
 ディネーターの館長大田
 社会学部、新聞部、教員は
 士会部に新聞を配置するため
 恵を結果されれば」と話し

外国人児童生徒の日本語教育に活用する NIE

「外国人児童生徒の日本語教育に活用する NIE」では、愛知教育大学の上田雅一准教授が、タイネテ、枝早岡と東

河村智子教授
荻田智子教授
副学部長
藤井洋子校長
飯沼歩説委員
柳澤智子教授

小川松枝教諭 藤原さくらめた